

ライフラインを守ります

水道は重要なライフラインです。地震などの災害により断水が発生しても、被害が最小限となるよう、さまざまな事業に取り組み、防災力の強化を図っています。

松江市で大震災が発生！
水道はどうなる

忌部浄水場 中央管理センター



24時間体制で情報キャッチ いち早く対応します

管理センターでは、24時間365日職員が常駐し、異常がないか監視しています。災害が起きたときは、いち早く対応できるようにしています。
また、水道施設に異常が起きると警報通知が職員のもとに届くようになっています。

緊急地下貯水槽



グラウンドの下に 大きなタンク

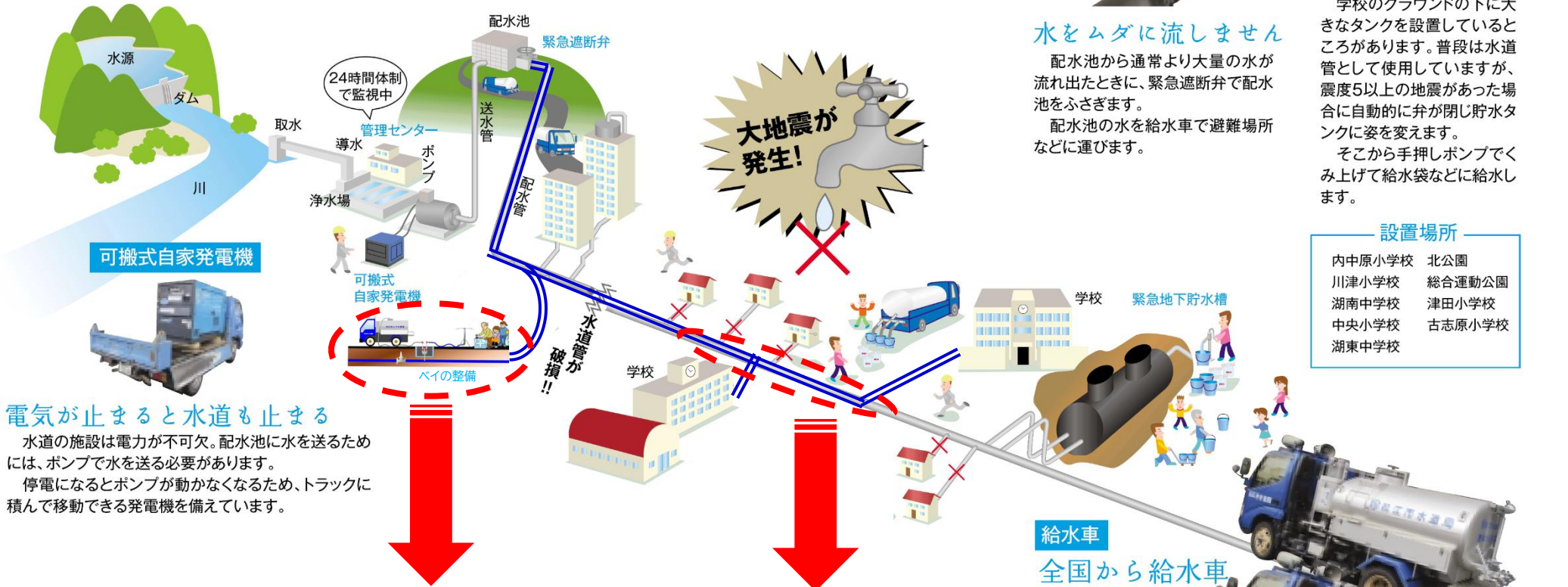
学校のグラウンドの下に大きなタンクを設置しているところがあります。普段は水道管として使用していますが、震度5以上の地震があった場合に自動的に弁が閉じ貯水タンクに姿を変えます。
そこから手押しポンプでくみ上げて給水袋などに給水します。

緊急遮断弁



水をムダに流しません

配水池から通常より大量の水が流れ出たときに、緊急遮断弁で配水池をふさぎます。
配水池の水を給水車で避難場所などに運びます。

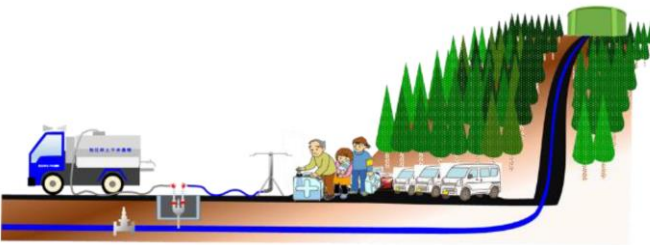


電気が止まると水道も止まる

水道の施設は電力が不可欠。配水池に水を送るためには、ポンプで水を送る必要があります。
停電になるとポンプが動かなくなるため、トラックに積んで移動できる発電機を備えています。

自家用車両パイの整備

配水池に応急給水用の配管や仮設給水栓取り付け整備のほか、応急給水時に仮設給水栓の付近まで自家用車で行けるパイ等の整備を行っています。



〈自家用車給水所〉
女子高グラウンド、サンライフ松江、竹矢ポンプ場

総合病院・学校等への管路耐震化

総合病院(災害拠点病院)、小中学校等指定避難所等への水道管路の耐震化を進めています。
また、避難所には施設建物外に仮設の給水栓を取り付けられるような応急給水設備の整備を行っています。



給水車 全国から給水車の 応援隊

全国からたくさんの給水車が応援給水にやってきます。
東日本大震災や熊本地震では松江市上下水道局も現地で給水活動を行いました。



水道管の凍結にご注意ください！

気温がマイナス4℃以下(風当たりの強い所はマイナス1~2℃)になると、水道管の中の水が凍ったり、管が破裂することがあります。
特に屋外で、管が露出しているものは注意してください。

ダム貯水量と水道水の使用状況

・ダムの貯水量について

令和4年1月31日現在

	利水容量※1	現在の貯水量	貯水率		利水容量	現在の貯水量	貯水率
千本ダム	378,919 m ³	378,919 m ³	100.0 %	布部ダム	4,270,000 m ³	3,628,000 m ³	85.0 %
大谷ダム	1,327,802 m ³	1,252,702 m ³	94.3 %	山佐ダム	1,100,000 m ³	1,385,000 m ³	100.0 %
				尾原ダム	31,100,000 m ³	31,643,000 m ³	100.0 %

・松江市全体で使った水の量は・・・

令和3年12月分の合計は 1,827,843 m³でした。 1件あたり1ヵ月19.4m³になります。

※1 利水容量とは上水道用等に利用される水をためる容量のことです。

松江市上下水道局
松江市学園南一丁目17-24
TEL: 55-4888 (代表)
Web: <https://www.water.matsue.shimane.jp>

松江市上下水道局
● 上下水道 NEWS